



## 令和2年度「南信州元気な森林づくり賞」及び 乾しいたけ品評会の各賞が決定！

毎年、南信州地域での森林・林業の振興に貢献のあった方々を表彰し、その功績を称えています。その表彰式が、令和3年2月19日に飯田合同庁舎講堂で行われました。



### 南信州元気な森林づくり大賞

#### 長野県下伊那農業高等学校 校友会

下伊那農業高校では、地域の課題の中から「放置竹林」の問題を取り上げて学習し、その集大成として、令和2年10月30日～11月3日に開催した文化祭「稲丘祭（とうきゅうさい）」において学習の成果を発表しました。また稲丘祭では、課題解決のために自分たちでできることを行おうと、全校生徒が一人一個の「タケノコランプ」（竹ひごを円錐状に組み上げ、中に蠟燭を入れたインテリア照明）や「竹筒ランタン」を制作して校内の廊下に展示するとともに、「竹アート」を制作して昇降口に設置しました。

このほか、校内の茶屋の「竹垣」が年月を経て劣化したため、同校の創立100周年を迎えるにあたりリフレッシュしようと、生徒と南信州林業研究会の皆さんと一緒に、新しい「竹垣」を設置しました。



### 南信州木づかい大賞

#### 城歯科クリニック

小児歯科に力を入れている飯田市座光寺の城歯科クリニックでは、「子どもの居場所木質空間整備事業」（長野県森林づくり県民税活用事業）を活用して、南信州の木材をふんだんに使用したプレイングルーム（子ども向け待合室）を増設し、地域材利用促進に貢献していただきました。

室内は、梁や母屋などの木材が見える「あらわし（現し）」と呼ばれるデザインを採用し、開放感溢れる空間が演出されています。また木材の優れた断熱性や調湿性により、心地よい室内環境となっています。さらに、根羽村産ヒノキのおもちゃも設置されています。

これらの木材は、南信州で育った木材を地元の製材工場等が加工したものです。地域の方々にとって身近なこの施設で、木との触れ合いを通じて木の良さを実感いただくことで、南信州地域材の地消地産につながることを期待されます。



### 目次

①令和2年度「南信州元気な森林づくり賞」が決定！…	P1,2	⑧地域の山をナラ枯れから守るために…	P6
②地域材利用を支援します…	P3	⑨意向調査が始まりました…	P6
③メンマレシビの紹介…	P3	⑩みんなで楽しく！「南信州林業研究会」…	P7
④南信州林道の紹介…	P4	⑪クマにご注意…	P7
⑤観光地の魅力向上を支援しています…	P4	⑫令和2年6・7月豪雨による山地災害の復旧…	P8
⑥県有林における主伐・再造林の取組…	P5	⑬緑化推進特別強調月間が始まります…	P8
⑦里山整備利用地域の紹介…	P5	⑭3月から5月は春の山火事予防運動期間です…	P8

## 森林林業の部

### 下伊那山林協会長賞



向方区里山整備利用推進協議会  
(天龍村)

地域の森林の多面的利活用や地域との協働活動を実践しています。  
(P5に取組の内容を掲載しています)

### 飯伊地域林業活性化協議会長賞



飯伊森林組合 会田班 (飯田市)

年間2,000㎡の素材生産量を誇る効率的な搬出技術を有し、安全作業で取り組んでいます。

### 飯伊山林種苗生産者組合長賞



小木曾 清和さん (飯田市)

四区財産区の議員として長年にわたり、森林保全や森林に親しむ場の整備活動に尽力されました。

## 森林林業の部

### 南信州特用林産振興会長賞



長谷部 徳治さん (飯田市)

柏原財産区の議員として長年にわたり、まつたけ山の復興に向けた整備活動に尽力されました。

## 木づかいの部

### 飯伊木材協同組合理事長賞



飯田市立緑ヶ丘中学校 (飯田市)

地域材を使った木製品の製作を通じ、家庭・学校・地域に貢献する活動を行っています。

### 飯伊地区森林組合連絡協議会長賞



上郷木材株式会社 (飯田市)

地元産ひのきに特化した製材品など、こだわりの地域材を地元へ供給しています。

## 森林環境教育推進の部

### 下伊那山林協会長賞



大原 均さん (高森町)

県林業総合センター森林学習展示館や松川青年の家で地域の森林環境教育に尽力されました。

## 乾しいたけ品評会

### 長野県知事賞



金田 和由さん (阿南町)

品目：こうしん

## 地域材利用を支援します

地域の86%が森林に囲まれる南信州。スギ、ヒノキを中心に、アカマツ、カラマツなど、様々な樹種が生育し、その多くが60年生を過ぎて木材としての活用を待っています。

そこで県では、県産材を活用した建物の木造・木質化やリノベーション（改修工事）、木製調度品や木のおもちゃの設置を、森林づくり県民税を活用して支援しています。

木材には、優れた調湿性やリラックス効果があります。また建築、生活用品、燃料など様々な用途で古くから使われてきた木材は、環境にやさしい材料です。こうした優れた素材である木材を活用することで、循環型社会の形成や農山村の活性化につなげていきたいですね。



## メンマレシピの紹介

南信州地域振興局では、「竹取再生」と題して、地域の皆さんによる放置竹林の整備や竹資源の様々な利活用に取り組んでいます。

そして、竹の利活用の一つとして注目されているのが、幼竹を塩蔵して作る「メンマ」です。南信州地域振興局では、この度、「メンマ料理のレシピ集」を作成しました。その中から、手軽にできる一品を紹介します。

### 『メンマのピリ辛炒め』

1. 材料 メンマ（塩抜きしたもの）500g・鷹の爪1本
2. 調味料 ① ごま油：大さじ1 ② 昆布・カツオ節のだし汁：100cc ③ 鶏ガラスープ100cc  
④ しょうゆ：小さじ2 ⑤ 酒：小さじ2 ⑥ みりん：小さじ2 ⑦ 砂糖：小さじ2  
⑧ オイスターソース：小さじ2 ⑨ 仕上げ用ごま油：大さじ1

### 3. 作り方

- (1) 熱したフライパンに①を入れる
- (2) 短冊切り（5mm幅位）にした塩抜きメンマを入れて炒める
- (3) 炒めたメンマに②③を入れて炒め煮にする
- (4) 汁が3分の1程度になったら、細かく刻んだ鷹の爪と④⑤⑥⑦⑧の調味料を入れて汁がなくなるまで炒める
- (5) 最後に仕上げ用の⑨を入れ軽く炒める



※お好みにより、豆板醤、ラー油などで辛味を足してもおいしいです。

☆「鶏ガラ」に、飯田市南信濃の「肉のスズキヤ」さんなどで販売している「キジ」のガラを使うと、コクと旨味が増しますよ！そのほか、「信州黄金シャモ」のガラや、鷹の爪に「鈴ヶ沢南蛮」（信州の伝統野菜の唐辛子）など、地域の食材を使ってみてはいかがでしょうか。

なお、塩蔵メンマの作り方は、南信州地域振興局のホームページ

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/shimochi/shimochi-rimmu/documents/taketori.html>) に掲載しています。皆さんもメンマづくりとメンマ料理に挑戦してみてくださいはいかがでしょうか。

SNS「竹取再生 南信州メンマ情報局」やってます！  
QRコードからアクセスするか「#竹取再生」で検索



## 南信州 林道の紹介 林道釜沢線が林道維持管理コンクール農林水産大臣賞を受賞しました

林道釜沢線は、大鹿村の東部に位置し、森林整備や釜沢集落の生活道及び御所平等観光地へのアクセス道として活用されています。

その林道釜沢線を維持管理する釜沢集落と大鹿村が、令和2年度林道維持管理コンクールにおいて、農林水産大臣賞を受賞しました。林道維持管理コンクールとは、林道の保全と通行の安全確保を目的

とした林道の維持管理業務の推進と改善を促すため、維持管理状況の優秀な路線を表彰するものです。

残念ながら、現在、釜沢線は、令和2年7月豪雨により複数個所で地すべりが発生し、通行不能となっています。災害発生当時、釜沢集落手前の林道が被災したことにより、一時集落が孤立しましたが、大鹿村による応急復旧工事により、地元車の通行が確保されました。今後も、大鹿村による早期復旧への支援に取り組みます。



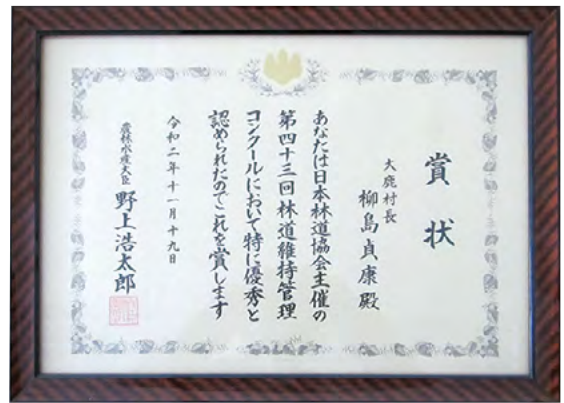
地すべり被災状況



応急工事



林道釜沢線



農林水産大臣賞状

## 観光地の魅力向上を支援しています

南信州地域には、豊かな森林を活かした観光地がたくさんあります。しかし、中には、森林の手入れが進まず、その魅力が十分に発揮できていないところもあります。

そこで県では、市町村が行う観光地の魅力を向上するための森林整備や支障木の伐採などを、森林づくり県民税を活用した「観光地等魅力向上森林景観整備事業」で支援しています。令和2年度は、南信州地域の3箇所が対象となりました。

このうち、根羽村にある「大杉公園」では、竹林や雑木林が整備され、樹齢1,800年といわれる県内最大の巨木“月瀬の大杉”の雄姿が際立ちました。また、整備箇所には将来的に花木を植えていくとのこと。季節ごとに花が咲き誇る、より魅力的な公園になっていくことでしょう。巨木のもたらす太古のロマンと四季折々の自然の魅力を発見しに、ぜひ足をお運びください。



整備前



整備後

## 県有林における主伐・再造林の取組

現在、長野県の人工林は、その多くが10齢級（46年生）以上の主伐期を迎えています。県が管理する県有林でも、昭和30～40年代に植林した人工林が中心で、10～13齢級（46～65年生）がピークとなり、利用段階を迎えています。

南信州では、令和元年度に、阿智村に位置する伍和県有林において、1.20haの主伐を実施し、約800m<sup>3</sup>の木材を生産しました。また、令和2年度は主伐跡地にスギおよびヒノキの植栽を行いました。

今後も県有林では、計画的な主伐・再造林によって林齢の平準化を進め、森林資源を持続的に管理していきます。



主伐前



植栽後

## 里山整備利用地域の紹介 ～天龍村向方区～

県では、住民が主体となって里山の保全や整備利用を進める地域を、長野県ふるさとの森林づくり条例に基づき、「里山整備利用地域」として認定しています。

南信州地域ではこれまでに20地域が認定され、里山での活動が進められています。

その中の一つ、天龍村向方区は、平成31年2月に認定を受け、里山から生み出される木材を薪やきのこ栽培に使用したり、地域の皆さんで植林し次世代の里山づくりをするなど様々な活動を実施しています。



家族で植林しました



支障木をみんなで伐採



薪割講習会を開催しました

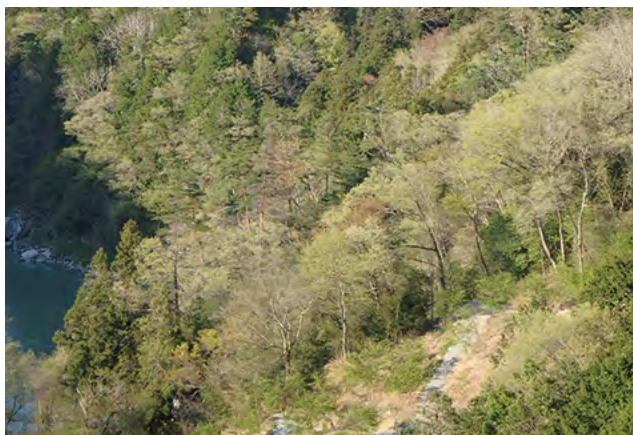


木をチップにして椎茸づくり



皆さんのお住まいの地域でも「里山整備利用地域」を検討しませんか。詳しくは、南信州地域振興局林務課普及係へお問い合わせください。  
電話：0265-53-0425

## 地域の山をナラ枯れから守るために林を若返らせましょう



芽吹きの日。美しく元気な林は災害防止等、多くの恵みをもたらしてくれます



ナラ枯れの林。7月下旬～9月上旬に赤茶に枯れます

### ●被害木を見つけたら

被害拡大防止には、適期の伐採やくん蒸の対策が必要なため、見つけたら、最寄りの市町村林務担当課や地域振興局林務課、森林組合までご連絡ください。また、被害材の移動は、被害地域を拡大させる恐れがあるので、細心の注意が必要です。むやみな移動は止めましょう。

### ●林を若返らせるには？

キノコ原木や薪に利用するために20～30年で伐採したり、大径化した木を間伐したりすることで、コナラ、ミズナラ類の山を若返らせることができます。地道な山の手入れで、木々が元気に芽吹く山を未来につないでいきましょう。

まもなく山笑う季節。でも、芽吹かない広葉樹があるかもしれません。

南信州地域では、昨夏、多くの市町村でコナラ、ミズナラ類に枯れが発生しました。

### ●「ナラ枯れ」とは？

「カシノナガキクイムシ」が「ナラ菌」を媒介し、感染したナラ類が枯死する伝染病です。

### ●なぜ増えたの？

ナラ類が利用されず、カシノナガキクイムシの繁殖に適した大径木が増えたことに加え、令和2年8月の酷暑と少雨で木の抵抗力が弱まったためと考えられます。

### ●ナラ枯れから守る対策は？

市町村では、被害木のくん蒸などにより、カシノナガキクイムシがナラ菌を運ばないようにする対策を行っています。すべての被害木を処理することは困難です。このため、カシノナガキクイムシに比較的強い、“若い”林にして、ナラ枯れを予防することが有効です。



被害木の根元。大量の木くずが特徴



カシナガの穿入孔。  
つまようじの先位の大きさ

## 森林経営管理制度に基づく意向調査が始まりました

森林経営管理法に基づく森林管理の取組が、各市町村で始まっています。

南信州地域の各市町村では、森林管理の課題や、手入れの行われていない森林の所有者に対する意向調査の進め方、意向調査を実施した後の森林管理の方法などを盛り込んだ、実施方針の策定を行いました。

既にいくつかの市町村では、策定した実施方針に沿って森林所有者への意向調査や、森林整備のための現況調査が始まっています。

今後、所有する森林に対する管理の意向調査票が届いたときは、回答のご協力をお願いします。

## みんなで楽しく!「南信州林業研究会」

南信州林業研究会は、南信州地域の森林所有者や長野県林業士、森林・林業に関心のある皆さんが集い、森林・林業の諸問題を研究するとともに、会員相互の親睦を図る組織です。

活動は地区単位の支部活動と本会活動に別れ、支部活動ではそれぞれの地域課題に取り組んでいただき、本会活動では技術講習会や視察研修、高校生の林業体験活動、各種イベントへの参加などを実施しています。

### 下伊那農業高校林業体験研修



### 視察研修



新規入会も随時受け付けていますので、入会を希望される方は事務局（南信州地域振興局林務課普及係 電話0265-53-0425）へご一報ください。

## クマにご注意!

令和2年は、県内外で、クマによる人身被害が相次ぎました。県内における4月から9月までのクマの出没件数は、1,201件。前年の同じ時期と比べ91件増えており、ここ数年では、1,500件だった平成28年度に次ぐ多さです。南信州地域でも、6月に大鹿村の山林内で女性が襲われ、軽傷を負う事故がありました。

南信州地域ではクヌギ、クリに豊作が見られるものの、ブナの着果が少ないとの調査結果（令和2年度堅果類豊凶調査）があり、エサを求めたクマが人里へ出没したものと思われる。

また、こうした出没件数の増加の背景について、国は、クマの生息域が山間部から平野部へ拡大していると分析しています。もはや「何時どこでクマに遭遇してもおかしくない」という心構えが求められているといっても過言ではない状況です。クマに遭わないためには、クマを引き寄せかねない柿や栗の実を早めに採るといった予防策を講じることが有効です。

でも、もし、クマに出会ってしまったらどのように対処したらよいのでしょうか。一番肝心なのは、焦って逃げ出さないこと。クマは背中を見せたものを追いかける習性があります。クマと正対したまま、刺激をしないように、ゆっくりと後ずさりします。万一、襲いかかってきたら、地面に伏せて首の後ろを両手で覆う防御態勢をとり、クマが逃げるのを待ってください。



## 令和2年6、7月豪雨による山地災害の復旧について

6月から7月にかけての豪雨の影響で、全国的に甚大な被害が発生しました。

南信州管内でも日最大降雨量80mmを超える地域が多数あり、各地域で山腹崩壊や土石流が発生し、治山関係では山地災害、施設災害合わせて59箇所の被害が発生しました。

林務課治山係では、生活地域周辺などの緊急性が高い箇所から、順次復旧工事を進めています。



飯田市上村万場地区上流状況（谷止工計画箇所）



飯田市上村万場地区土砂流出状況

## 緑化推進特別強調月間が始まります

毎年4、5月の2ヶ月間を「緑化推進特別強調月間」と定め、各地で植樹祭などの緑化行事が開催されます。

緑の募金活動も実施しておりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。



平成31年 平谷村植樹祭

## 3/1～5/31は春の山火事予防運動期間です

春先は農作業に伴う土手焼き、枯草焼き、枝焼き等屋外での火を扱う機会が多くなるとともに、降雨が少なく乾燥し、風が吹くため、ちょっとした不注意で火災が発生しやすい季節です。

南信州地域でも、近年は自衛隊が出動する大規模な山火事が発生していて、いずれも枯草焼き等の屋外での火の取扱いの不注意が原因です。

たき火や火入れなどの火気使用中は、その場を離れないようにしましょう。また、使用後は消火も確認しましょう。



山火事は大切な森林を失います

# ONE NAGANO

みんなでひとつに がんばろう信州

Working together to support one another

**長野県南信州地域振興局林務課**

☎ 0265-53-0425 ☎ 0265-23-3393

✉ minamichi-rimmu@pref.nagano.lg.jp

<https://www.pref.nagano.lg.jp/minamichi/minamichi-rimmu/kannai/soshiki/rimmu/index.html>

南信州地域振興局発信ブログ『南信州お散歩日和』やっています

<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina>

この広報誌は再生紙を使用しています。

信州版「新たな日常のすゝめ」

©長野県アルクマ



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



【発行】令和3年3月